

平成30年度

事業報告書

特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ

1 事業の成果

(1) 心理社会的支援活動事業

(ア) サポート事業

同じような境遇にあるがん患者同士が出会い、語り合うことで不安や悩みを解消したり、“自分らしい”生き方を取り戻すことを目的として、大腸・肺・乳腺・前立腺・消化器A（肝臓・胆嚢・膵臓）・消化器B（胃・食道）といったがんの「発症部位別グループ」、また男女区別なく腎臓・膀胱といった希少部位にがんが発症した患者のための「混合グループ」や乳腺・子宮・卵巣といった女性特有の部位にがんが発症した患者のための「女性混合グループ」、さらに近年話題となっている就労しているがん患者を対象とした「サタデーグループ」を編成、さらに出張サポートグループとして柏市の協賛を得た「柏サポートグループ」と大阪マラソンの寄附金による「大阪サポートグループ」を企画し、看護師、社会福祉士及び臨床心理士といった専門家によってファシリテートされるグループ療法を提供した。各グループは月1～2回、年間221回開催し、延べ1,016人ものがん患者及び家族に対しグループ療法を提供した。

(イ) 医療相談事業

外科および緩和ケアを専門とする複数の医師による医療相談を毎週水曜日に開催し、がん患者及び家族19人に対してアドバイスを行った。

(2) 技術的支援活動事業

(ア) リラクゼーション事業

がん患者及び家族を対象として、①自律訓練法講座を月2回、計23回開催し、延べ53人が参加、②ヨガ講座を月2回、計21回開催し、延べ166人が参加、③アロマテラピー講座を月1回、計11回開催し、延べ13人が参加、④コーラス講座（いきのちから合唱団）を月2回、計24回開催し、延べ430人が参加し、4種の講座合計95回開催し、延べ662人のがん患者及び家族に対して補助療法を提供した。

(3) 普及啓発活動事業

(ア) 講演会

がん患者及び家族、市民に対し、がんに関する意識・知識の向上を目的とした第16回ペイシェント・アクティブ・フォーラムを平成30年9月2日（日）によみうり大手町ホール（東京）にて開催した。488人の来場者に対し、「がんの治る日は近いか!?—個別化医療の現実」をテーマに、「プレジジョン医療—がん患者の人生の質向上に向けて」をテーマにがん研究会がんプレジジョン医療研究センター所長・中村祐輔氏に、「核医学ってなに？がん診療における役割」をテーマに金沢大学医薬保健研究域医学系核医学教授・絹谷清剛氏にそれぞれ基調講演いただいた。その後、両氏に加えて体験者の立場からNPO法人パンキャンジャパン理事長・眞島喜幸氏にも登壇いただき、パネルディスカッションを行った。

(イ) 市民向けセミナー

①がんを学ぶセミナーTOKYO：関東圏在住のがん患者とそのご家族に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーを平成30年6月16日(土)にホギメディカルホール(東京)にて開催、55人が参加した。要町病院腹水治療センター長・松崎圭祐氏を講師に招いて「あきらめないがん治療―腹水治療」をテーマに講演いただいた。

②がんを学ぶセミナーOSAKA：関西圏2府4県在住のがん患者とそのご家族はもちろん市民に対するがんに関する意識・知識の向上を目的にセミナーを平成30年10月27日(土)にTSURUYAホール(大阪)にて開催、19人が参加した。大阪国際がんセンター副院長・片山和宏氏を講師に招いて「がん診療における診断と治療のトレンド」をテーマに講演いただいた。

(ウ) 専門家向けセミナー

大阪マラソンの寄附金によってスタートした大阪サポートグループの活動を普及啓発することを目的に関西圏2府4県のがん専門相談員を対象に第5回患者支援プログラムを学ぶセミナーを平成30年5月26日(土)にTSURUYAホール(大阪)にて開催、29人が参加した。都立駒込病院緩和ケア科心理療法士・栗原幸江氏を講師に招いて「がん専門相談員のレジリエンスを育む」をテーマに講演いただいた。

(エ) 教育研修事業

将来サポート事業ならびに地域におけるサポート活動を担う人材育成のために、「ファシリテーター研修プログラム」を開発し、エーザイの協力を得てがん診療連携拠点病院及び東京都認定がん診療病院に勤務する看護師、社会福祉士及び臨床心理士48人に対して実施した。

(オ) 大阪マラソン

ランナーがそれぞれ選択したテーマに500円ずつ寄付するチャリティマラソンとして大阪マラソン2018が平成30年11月25日(日)に開催された。そのチャリティー募金先の一つとして参加し、ランナー3万人2,000人に対して、11月23日(金)～24日(土)にインテック大阪で開催されたEXPO会場において「がんにならない、がんになっても自分らしく生きる社会」をめざして、がん検診受診と大阪サポートグループの認知向上を呼び掛け、10,141,725円の募金をいただいた。

(カ) 説明会

がん患者及び家族に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために毎週金曜日に開催した。36回開催し、56組が参加した。

(キ) がんサポ通信

がん患者及び家族、市民に対して、がんサポートコミュニティの活動事業を紹介するために年2回発行、1回あたり2,000部を配布した。

(ク) 活動報告会

がんサポートコミュニティの活動事業を支援する賛助会員を対象に、活動報告ならびに活動計画の説明を行った。当日10人が参加した。

(4) 調査研究及び情報交換事業

(ア) 患者交流事業

①とわの会：平成30年10月20日(土)に事務所においてサポート事業に参加していた患者が亡く

なり、その遺族に対するプログラムとして「とわの会」を企画し、遺族 8 人が参加した。

②クリスマスパーティー：平成 30 年 12 月 21 日(金)に豊島区池袋にある「カサ・デル・ガポ」においてクリスマスパーティーを開催し患者及び家族 29 名が参加した。

(イ) その他

第一三共と劇団四季が主催する「家族のきずなシアター」に後援し、がん患者及び家族 150 組 428 名を招待し劇団四季ミュージカル「キャッチ」を平成 30 年 9 月 30 日(日)にキャッツ・シアターにて観劇した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 29,702 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
心理社会的支援活動事業	サポート事業：患者及び家族に対して部位別・状況別の各種サポートグループを毎月 1～2 回運営した。	日曜祝祭日を除く毎日	事務所	9 人	がん患者・家族	1,016 人	13,805
	医療相談事業：患者及び家族に対し複数の医師による医療相談を希望に応じて実施した。	原則として水曜日	事務所	2 人	がん患者・家族	19 人	
技術的支援活動事業	リラクゼーション事業：患者及び家族に対するヨーガの指導を実施した。	原則として第 1・3 木曜日	事務所	1 人	がん患者・家族、市民	166 人	2,528
	リラクゼーション事業：患者及び家族に対するアロマセラピーの指導を実施した。	原則として第 3 金曜日	事務所	1 人	がん患者・家族、市民	13 人	
	リラクゼーション事業：患者及び家族に対する自律訓練法の指導を実施した。	原則として第 1・2 火曜日	事務所	1 人	がん患者・家族、市民	53 人	
	リラクゼーション事業：患者及び家族に対するコーラスの指導を実施した。	原則として第 1・3 月曜日	麻布グレイスゴスペル教会/自由学園明日館	3 人	がん患者・家族	430 人	
普及啓発活動事業	市民啓発を目的とした講演会「ペイシエント・アクティブ・フォーラム」を開催した。	9月2日	よみうり大手町ホール	15 人	がんに関心のある一般市民	488 人	55 人
	市民啓発を目的とした「がんを学ぶセミナー TOKYO」を開催した。	6月16日	ホギメディカルホール	10 人	関東圏のがん患者・家族、市民		

普及啓発 活動事業	市民啓発を目的とした「がんを学ぶセミナー OSAKA」を開催した。	10月27日	つるや ホール	5人	関西圏の がん患者・家族、 市民	19人	11,009
	関西圏の専門家を対象とした「患者支援プログラムを学ぶセミナー」を開催した。	5月26日	つるや ホール	5人	関西圏の がん専門 相談員	29人	
	関東圏の専門家を対象に後進の育成を目的とした「ファシリテーター研修」を開催した。	1月12日～ 13日	エーザイ東 京コミュニ ケーション オフィス	9人	関東圏の がん専門 相談員	48人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「大阪マラソン EXPO」に出展した。	11月23日 ～24日	インテック ス大阪	12人	市民	55,000 人	
	がん患者及び家族に対して活動紹介を目的とした「説明会」を開催した。	原則とし て金曜日	事務所	4人	がん患者・家族	56人	
	広く市民に対する活動紹介として「がんサポ通信」を発行した。	8月1日 3月1日	事務所	10人	がん患者・家族、 市民	4,000人	
	広く市民に対するがん啓発を目的とした「がん患者支援アプリ CAN.」を開発、運営した。	随時	事務所	3人	がん患者・家族、 市民	400人	
	支援者に対して活動を報告する「活動報告会」を開催した。	7月25日	事務所	2人	市民	10人	
	がん患者及び家族に対して関係函書を頒布した。	随時	事務所	2人	がん患者・家族	300人	
調査研究及び 情報交換事業	患者交流事業：がん患者の遺族に対して「とわの会」を開催した。	10月20日	事務所	10人	遺族	8人	2,360
	患者交流事業：がん患者及び家族に対して「クリスマスパーティー」を開催した。	12月21日	カサ・デル・ ガボ	10人	がん患者・家族	29人	

調査研究及び 情報交換事業	その他：患者及び家族に対し家族の絆を深めることを目的とした「家族のきずなシアター」を開催した。	9月30日	キャッツ・ シアター	5人	がん患 者・家族	428人	
------------------	---	-------	---------------	----	-------------	------	--

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	事業費 (千円)
	該当なし				